

問1 1990年代初頭に起こった湾岸戦争では、日本は多額の資金援助を行いました。国際社会からは人的な貢献が不十分であるとの批判を受けました。これを背景に、国際平和のための協力体制を整え、自衛隊などが国連の活動に参加できるようにすることを目指して1992年に成立した法律を何といいますか。（2016年 福岡県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------|-------------|------------|------------|
| 1. 国際平和協力法（PKO協力法） | 2. 日米安全保障条約 | 3. 非常事態宣言法 | 4. 破壊活動防止法 |
|--------------------|-------------|------------|------------|

問2 1990年代の出来事に関連して、1990年の「東西ドイツの統一」から1997年の「京都議定書の採択」までの期間に、日本国内で起こった事象として適切なものはどれですか。（2018年 山形県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 地価や株価の急落によりバブル経済が崩壊し、長期的な景気後退の時期に入った。 | 2. 所得倍増計画が発表され、国民の生活水準を10年間で2倍にする政策が進められた。 | 3. 日ソ共同宣言が署名され、ソ連との国交が回復するとともに国際連合への加盟が実現した。 | 4. 高度経済成長の影で深刻化した公害問題に対応するため、環境庁（現在の環境省）が設置された。 |
|--|--|--|---|

問3 1930年代後半、日中戦争が長期化する中で制定された「国家総動員法」の目的と、その内容についての説明として最も適切なものを選びなさい。（2021年 東京都公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 議会の承認なしに、戦争遂行のために必要な人的・物的資源を政府が統制・動員すること。 | 2. 地主から土地を買い上げて小作人に安く売り渡し、自作農を増やして社会を安定させること。 | 3. 教育の機会均等を実現し、個人の尊厳を重んじる民主的な教育制度を確立すること。 | 4. 企業の生産活動によって発生する大気汚染や水質汚濁に対し、企業の社会的責任を明確にすること。 |
|--|---|---|--|

問4 1980年代後半から続いた株価や地価の異常な上昇が終わり、1990年代初頭にこれらが急落したことで始まった景気の低迷を何と呼びますか。（2018年 愛知県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------|------------|-------------|-------------|
| 1. 高度経済成長の終焉 | 2. 石油危機の発生 | 3. バブル経済の崩壊 | 4. ブラザ合意の影響 |
|--------------|------------|-------------|-------------|

問5 ユーラシア大陸の東端に位置し、タイガと呼ばれる広大な針葉樹林地帯を貫く鉄道の終着点となっているロシアの都市について、その特徴を述べたものとして適切なものはどれか。（2018年 東京都公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 1776年に建国された歴史を持ち、現在は大西洋に面した世界最大の物流拠点として発展している。 | 2. ライン川の河口付近に位置し、ポルターと呼ばれる大規模な干拓地を背景に酪農製品の輸出を行っている。 | 3. シベリア鉄道によって首都と結ばれ、軍港としての機能や豊富な鉱産資源の輸出拠点としての役割を持つ。 | 4. イギリスの植民地時代に建設された鉄道網を活用し、綿花の輸出を中心としたモノカルチャー経済を維持している。 |
|---|---|---|---|

問6 1980年代後半から1990年代初頭にかけての、地価や株価が異常に高騰した「バブル経済」と呼ばれる時期における日本の廃棄物の状況と、その背景について説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2018年 兵庫県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 大量生産・大量消費の社会背景により、ごみの総排出量は急激に増加し、年間5000万トンを超える水準に達した。 | 2. 環境保護意識の高まりによってリサイクル運動が全国に普及したため、ごみの総排出量は1980年代を通じて減少傾向にあった。 | 3. 不況による消費の冷え込みから、ごみの排出量は1980年代後半から1990年代初頭にかけて横ばいの状態が続いた。 | 4. プラスチック製品の利用を制限する法律が施行されたことで、生活系ごみの排出量は1970年代に比べて大幅に抑制された。 |
|--|--|--|--|

問7 バブル経済期における日本の状況とその崩壊について、背景や仕組みを説明したものとして適切なものを選択してください。

（2023年 埼玉県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 土地を持っていれば必ず値上がりするという土地神話が広まり、多額の資金が不動産投資に向けられた。 | 2. 重化学工業から知識集約型産業への転換が進み、国全体が安定成長期へと移行するきっかけとなった。 | 3. 世界的な不況により企業の倒産が相次いだため、政府が公共投資を削減して財政再建を優先させた。 | 4. 企業の合併や統合が進んだことで失業者が減少し、物価が継続的に下落するデフレーションが発生した。 |
|--|---|--|--|

問8 現代の国際社会において、1967年に発足した「欧州共同体（EC）」から1993年の「欧州連合（EU）」への発展や、1992年の「地球サミット」の開催に共通する背景として、最も適切なものはどれですか。（2020年 東京都公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 経済的な利害や地球環境の保護など、国家単位では解決が困難な課題に対して、地域や地球規模での協力体制が求められたこと。 | 2. 国際連盟の失敗を教訓として、すべての加盟国が平等に一票を持つことで、大国の影響力を排除する体制を目指したこと。 | 3. 冷戦の終結に伴い、科学観測を目的とした国際極年の活動を政治的な軍事同盟へと格上げする必要が生じたこと。 | 4. アジア・アフリカ諸国の急速な経済成長に対抗するために、欧米諸国が独占的な経済圏を再構築しようとしたこと。 |
|---|--|--|---|